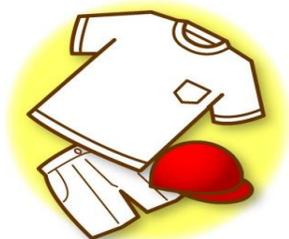
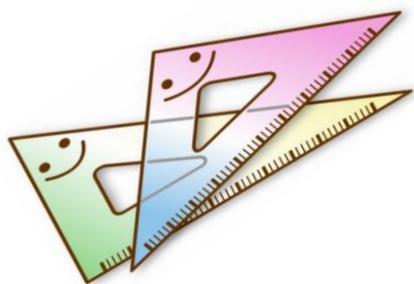


令和5年度

授業改善推進プラン



国立市立国立第一小学校

本校の授業改善に向けた視点

| 教育課程編成上の工夫 | 指導内容・指導方法の工夫 | 校内における研究や研修の工夫 | 評価活動の工夫 | 開かれた学校づくり (家庭や地域社会との連携の工夫) |
|------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------|---------------------------------------|
| ①学校評価を生かした特色ある学校づくり | ①基礎的・基本的な内容の定着を図る効果的な授業の工夫 | ①「積極的に自分の考えを表現する子供」を主題とした研究・研修の充実 | ①指導と評価の一体化 | ①教育方針、教育計画、教育成果や個別評価などを様々な機会にわかりやすく伝達 |
| ②学力向上のための年間授業時数の確保 | ②思考力・判断力・表現力の向上を図る学習活動の工夫 | ②分科会を中心とした授業研究と教科研究の充実 | ②「観点別学習状況の評価」の精度の向上 | ②学校だより、学年だよりその他説明資料の充実 |
| ③より質の高い年間指導計画の作成 | ③問題解決的な学習の指導法定着 | ③教員研修の充実 | ③評価規準の改善 | ③諸活動での保護者・地域人材の積極的な活用 |
| ④人権教育の推進 | ④補充・発展的な学習の工夫 | ④OJTによる校内での教育実践の交流 | ④学校評価の内容・方法の検討 | ④学校関係者評価の活用 |
| ⑤規範意識の醸成と公共心の涵養 | ⑤各教科における少人数指導（習熟の程度に応じた）指導方法の工夫 | ⑤教材研究の時間の確保 | ⑤学校関係者評価委員会のさらなる充実 | ⑤関連諸機関との連携、協力 |
| ⑥道徳の時間の充実 | ⑥体力・運動能力向上のための指導の工夫 | ⑥くにたち∞「対話的に学ぶ技」を発揮させるための手立ての検討 | | |
| ⑦特別支援教育の推進と交流及び共同学習の充実 | ⑦ICTを活用した授業の工夫 | | | |
| ⑧小・中の連携の推進 | ⑧板書、ノート指導の工夫 | | | |

国立市立国立第一小学校 令和5年度 各教科授業改善推進プラン

【国語】

| | 基礎的・基本的な能力の強化 | 思考力・判断力・表現力の向上 |
|------|---|---|
| ●低学年 | <ul style="list-style-type: none"> 音読に定期的に取り組ませる。 文章の中で漢字を使えるようにするために、絵で表された場面と言葉を結びつけることにより、語彙を豊かに広げる。 東京ベーシックドリルとパワーアップドリル（タブレット）を活用し、漢字の読み書きの定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 説明文、物語教材において、絵や写真などと文を結びつけながら内容を読み取り、他者に伝える交流の場を設定する。 短文の読み聞かせ等を行い、話の内容を答える活動を取り入れる。（内容あてクイズなど） |
| ●中学年 | <ul style="list-style-type: none"> 音読に定期的に取り組ませる。 漢字の組み立てや構成要素（へん、つくり、かんむり、あし、によ、たれ、かまえなど）の学習を通して、漢字の意味を類推したり、意味を押さえたりして漢字を習得する。 東京ベーシックドリルとパワーアップドリル（タブレット）を活用し、漢字の読み書きの定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 下学年や他教材の説明文や物語文を用いて、多くの文章に触れさせる。挿絵や図を抜いたものに文の挿入として適切なものを考えさせたり、文章構成の様々なパターンや問題形式に触れさせたりする。 継続的に短文要約の時間を設定する。 |
| ●高学年 | <ul style="list-style-type: none"> 音読に定期的に取り組ませる。 同じ部分をもつ漢字（求、球、数など）は音も共通する場合があることを理解し、漢字辞典を使って問題を作ったり、解いたりする。 東京ベーシックドリルとパワーアップドリル（タブレット）を活用し、漢字の読み書きの定着を図る。 読書の時間を確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> 下学年や他教材の物語文、説明文を用いて、多くの文章に触れさせる。挿絵や図を抜いたものに文の挿入として適切なものを考えさせる。 物語文、説明的文章の読み取りの際、要点を捉えるだけでなく、段落相互の関連付けを行う。 継続的に短文要約の時間を設定する。 |

【算数】

| | 基礎的・基本的な能力の強化 | 思考力・判断力・表現力の向上 |
|--------------|--|---|
| ●低学年 | <ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルとパワーアップドリル（タブレット）を繰り返し活用する。（計算技能） 答えの見当を付け、確かめる時間を設定する。 具体物を使ったり、操作したりする活動を組み込む。 | <ul style="list-style-type: none"> 問題文から分かっていること、解決することを読み取り、筋道を立てて考えさせて、解決する。 児童から多様な考え方を引き出して、互いに表現する時間を十分に確保する。 考えたことを式や図、文章、具体物の操作などで表して、自分の言葉で説明する活動を繰り返し行う。 様々な考え方に触れさせるために、「自力解決」の時間と「伝え合い」の時間を確保する。 |
| ●中学年 ●高学年 | <ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルとパワーアップドリル（タブレット）を繰り返し活用する。（計算技能、単位換算など） 答えの見当を付け、確かめる時間を設定する。 問題解決的な学習を進めるため、授業を構成する。（問題→めあて→自力解決→交流→まとめ→ふりかえり） 既習事項を活用して問題を解決する活動を設定する。 | |

【理科】

| | 基礎的・基本的な能力の強化 | 思考力・判断力・表現力の向上 |
|------|---|---|
| ●低学年 | | |
| ●中学年 | <ul style="list-style-type: none"> 学習した用語や、実験の諸条件をその都度整理して理解できるようにする。 実験器具の正しい使い方を習得させる。 問題解決的な学習の充実をはかるため、学習過程を意識し、授業を構成する。（問題→仮説→実験→結果→考察→結論→ふりかえり） 東京ベーシックドリルやタブレットを活用して、知識・技能の定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって、根拠のある仮説を立てたり、適切な実験方法を考えさせたりする。 結果からどのようなことが分かるのか、自分の言葉で表現させる。 |
| ●高学年 | <ul style="list-style-type: none"> 検証可能な実験方法を自ら考えさせたり、実験において変える条件と変えない条件を考えさせたりする。 問題を主体的に設定できるよう事象提示の工夫をする。 問題解決的な学習の充実をはかるため、学習過程を意識し、授業を構成する。（問題→仮説→実験→結果→考察→結論→ふりかえり） タブレットでまとめて、思考力、表現力を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> 実験結果を表や図でまとめ、その表や図から分かる結論を自分の言葉で記述できるようにする。 一つの事象だけでなく他事象についても調べ、共通性や多様性について理解させる。 |

【社会】

| | 基礎的・基本的な能力の強化 | 思考力・判断力・表現力の向上 |
|------|--|--|
| ●低学年 | | |
| ●中学年 | <ul style="list-style-type: none"> 図や表にじっくりと触れる機会を増やす。 まとめる方法の種類を増やす。（ノート、発表、新聞、プレゼンテーションソフト、地図、タブレットなど） 学習して分かったことや考えたことなどを「自分なりの言葉」でまとめる活動を増やす。 | <ul style="list-style-type: none"> 体験的学習を通し、考えたことや分かったことを発表・交流による言語活動を充実させ、思考力を高める。 実感をもって追究できるような学習問題を設定し、主体的に問題解決できるよう単元計画を工夫する。 |
| ●高学年 | <ul style="list-style-type: none"> 地図帳や地球儀や白地図を活用し、自分たちが生活している場所を意識させて、地理的な見方や考え方の素地を養う。 タブレットでまとめて、思考力、表現力を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> じっくりと「個人で考える場面の充実」（予想やまとめの段階）と「言語による交流の時間」の設定を工夫する。 グラフや写真などを丁寧に読み取り、自分事として考えられるような学習問題を設定する。 |